

あとがき

〈編集顧問〉

太田 保世
諏訪 邦夫
広沢 弘七郎
堀江 孝至
村山 正博

〈編集委員〉

相澤 久道
石坂 彰敏
和泉 徹
小川 聡
永井 良三
三嶋 理晃

〈編集協力委員〉

赤石 誠
赤柴 恒人
北風 政史
近藤 哲理
中沢 潔
(五十音順)

やっとのことで今月号の編集後記を書き終えた。晴れ晴れとした気持ちでタクシーに乗ったところ、愛想のよさそうな運転手で車内も禁煙、また少し小さな幸福感を感じる。「しかし何ですねお客さん。最近の世の中何かおかしいですね。」「そうだね。」と答える。それから、年金問題から始まり、介護問題と医療問題、たばこ問題、などなどよく勉強しているし、私が普段感じていることともあまり変わらないので、時々相槌を打ちながら聞いている。「全ての元凶は小泉さんですね。あの人には愛情と倫理観が欠如していましたからね。」鋭い。私が常に感じていた不快感を見事に言い表している。「社会保険庁改革法案も大事ですが、JT 解体法案が必要ですよ。」全く同感！ところが、このあたりからだんだん方向がおかしくなってきた。

「大体この車の中でも煙草吸うお客さんがいるんですよ。自分たちは、くさい、汚いだけでなく、周りの人間の健康にも危険だってこと、つまり3Kってこと判らないんですよ。禁煙のところで吸う奴なんか死刑にすべきですよ。ね。そうでしょ！」「……!?。禁固刑くらいでいいんじゃないですか……。」話がだんだん激してくる。言うことはそれなりに理屈が通っているのだが、話に余裕が無くなってきている。それくらい怒っているのだとは思うけれど。乗った時とは正反対の嫌な気持ちでタクシーを降りた。

中学の時に父から漢文を習った。今ははっきり覚えていないが、そのなかに「自分がいくら正しいことを言っても人に受け入れてもらえないときは、自分の態度や言い方を反省してみなさい。」というのがあった。こんな調子で患者さんに禁煙を勧めても失敗するだろうなと思った。相手に対する理解や愛情を持った上で話をするのが、特に私たち医師には求められている。政治や学問などの専門的世界では徹底して議論を戦わせる必要のあるときも多いだろう。もちろん私たちの日常生活においても主張すべきことははっきり言うべきである。しかし、言葉や態度というものは大切だなとしみじみ思った。

そこではたと気がついた。編集後記には、今月号の特集の在宅医療から始まり介護問題と社会保障制度問題を取り上げ、先ほどの運転手とあまり変わらない主張をあまり変わらない表現で書いていたのである。これでは逆効果である。以前好きな言葉は何ですかと聞かれ、蘇東坡の「義不可過也 仁可過也」と偉そうに書いたことがあるが、恥ずかしくなる。慌ててパソコンを取り出し、今飛行機の中でこの原稿を書き直している。

(相澤久道)

呼吸と循環 (第55巻 第8号)

2007年8月15日発行(毎月1回15日発行)

定価 2,730 円(本体 2,600 円+税 5%)

(2007年、年ぎめ予約購読料 31,800 円)
(税込み、配送料弊社負担)

E-mail: kotojun@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kotojun>

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5703

(担当: 菊池・山崎)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三美印刷株式会社 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 (株) 医薬広告社 電話 (03) 3814-1971

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2007, Printed in Japan.

• 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

ICLS<株>日本著作出版権管理システム委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX03-3815-8199)の許諾を得てください。